

物 件 調 書

※この物件調書は、応募者が物件の概要を把握するための参考資料です。

記載内容の正確性、その他記載にない事項については、お申し込みの前に、必ず応募者ご自身において、現地及び諸規制等についての調査確認を行ってください。

※物件の引き渡し条件は、応募書類配布時の配布資料等をご覧ください。

※物件に設置されている構造物等の改修、撤去は、購入者の負担で行ってください。

お問い合わせ先

橿原市 魅力創造部 地域振興課 企業立地推進室

TEL 0744-47-3545(直通)

*記載の面積は、整備予定の道路部分を含む面積です。

引き渡し面積については、今後実施予定の測量・分筆によって確定します。

所在地	五井町163番1、174番1	
面積	23,641.22 m ² (公簿)	
現況	地目(主たる登記地目)	宅地
	既存物件等	既存施設なし (敷地の一部がコンクリートプラント跡地)
	周辺土地の利用状況	住宅地及び事業所が広がるエリア 東側を南北方向に市道が、南側は区画を挟んで、東西方向に国道166号がそれぞれ通る 敷地南側に里道(近隣住民の生活道路として使用)が通る
法規制	総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画 等	【都市計画マスタープラン】 産業誘致ゾーン、工業流通ゾーン
	区域区分	市街化区域
	用途地域	準工業地域(※市街化区域)
	地区計画	—
	建ぺい率・容積率	60%・200%
	農振農用地	—
	農地の集団性	—
	埋蔵文化財の有無	藤原京跡
	保安林	—
	土砂災害警戒区域	—
	砂防指定地	—
	景観規制	沿道市街地エリア
	風致地区	—
	市街化抑制区域(浸水)	—
	その他	20m 高度地区(高度地区)

交通アクセス・ インフラ	IC までの距離	京奈和自動車道榎原高田 IC から 2 km以内
	道路	計画地の東側:市道五井町 1 号線(幅員 19.0m) 市道五井町 1 号線が計画地東側を南北方向に通り、 国道 166 号に接続している。
	上水道	給水区域 東側市道、敷地南側の東西道路に敷設済み。
	下水道	全域未供用区域(事業計画区域内)
	電 力	関西電力 高圧:6kV(西榎原変電所まで 0.6km) 特別高圧:22kV(榎原変電所まで 1.3km)
	ガ ス	大和ガス 東側市道の一部、南側里道に本支管あり。
そ の 他	浸水実績	想定浸水深 0.5~3.0m
	環境アセスメント	—

所 在 地	五井町187番1	
面 積	1159.67 m ² (公簿)	
現 況	地目 (主たる登記地目)	宅地
	既存物件等	既存施設なし
	周辺土地の利用状況	住宅地及び事業所が広がるエリア 敷地の東西に住宅及び事業所が隣接している 敷地南側を東西方向に国道 166 号が通る 敷地北側に里道 (近隣住民の生活道路として使用) が通る
法 規 制	総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画 等	【都市計画マスタープラン】 産業誘致ゾーン、工業流通ゾーン
	区域区分	市街化区域
	用途地域	準工業地域 (※市街化区域)
	地区計画	—
	建ぺい率・容積率	60%・200%
	農振農用地	—
	農地の集団性	—
	埋蔵文化財の有無	藤原京跡
	保安林	—
	土砂災害警戒区域	—
	砂防指定地	—
	景観規制	沿道市街地エリア
	風致地区	—
	市街化抑制区域 (浸水)	—
	その他	20m 高度地区 (高度地区)

交通アクセス・ インフラ	IC までの距離	京奈和自動車道榎原高田 IC から 2 km 以内
	道路	計画地の南側：国道 166 号（幅員 12.5m） 国道 166 号が敷地の南側を東西方向に通り、国道 24 号榎原バイパスに接続している
	上水道	給水区域 東側市道、敷地北側の東西道路に敷設済み
	下水道	全域未供用区域（事業計画区域内）
	電 力	関西電力 高圧：6kV（西榎原変電所まで 0.6km） 特別高圧：22kV（榎原変電所まで 1.3km）
	ガ ス	大和ガス 東側市道の一部、北側里道に本支管あり
そ の 他	浸水実績	想定浸水深 0.5～3.0m
	環境アセスメント	—